

市指定文化財
有形民俗文化財

額絵馬（捕馬の図）

所在地：岡田馬頭観世音堂

寸法等：約120×60cm

指定日：平成4年12月8日



この絵馬は、用草村猪野秀司の作といわれ、江戸時代佐倉七牧の一つであった柳沢牧において行われていた野馬捕り(捕馬)の様子を描いたものとされる。

将棋の駒が染められた陣羽織をまとい、馬に乗り野馬を追う牧士、牧士の指揮に従う勢子人足、逃げ惑い捕込場に追い立てられた野馬、土手の上で見物する人々の姿が良く描かれており、捕馬の様子を描いた絵馬としては、市内唯一のものである。

塩古ざると製作資料

所在地：郷土資料館

点数等：製品(ざる)5点 制作過程資料5点

指定日：平成20年3月31日



かつて、市内根古谷・岡田及び佐倉市西御門・七曲の一带は塩古郷の名で知られていた。この地域の農家の副業として生産されていた、篠竹製のざるを「塩古ざる」と呼び、江戸時代の頃から続くこの地方独特の産物であった。

現在では生産が途絶え、製作過程を示す資料とともに残されているこれらのざる一式は、近世から近代における農家の生活や、日常用具の生産の歴史を示す資料として、極めて貴重である。

※個人蔵の文化財は未掲載です。